

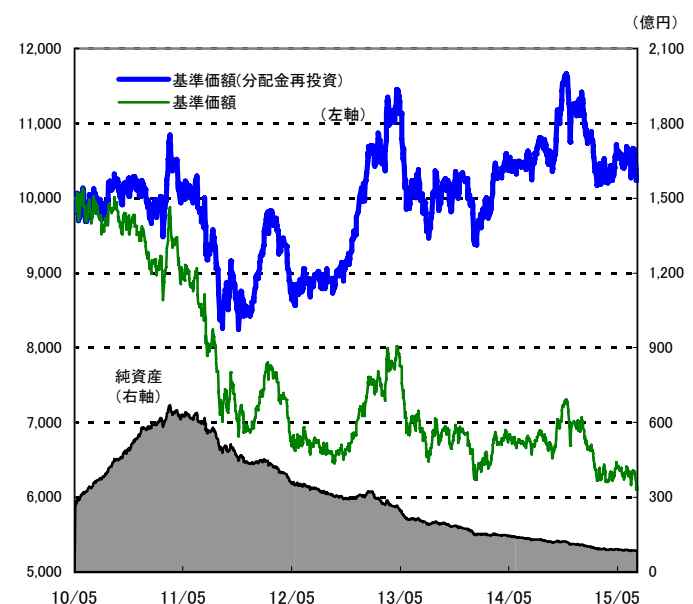


運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 6,141円

※分配金控除後

純資産総額 84.0 億円

- 信託設定日 2010年5月27日
- 信託期間 2020年5月15日まで
- 決算日 原則、毎月15日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	-1.9%
3ヵ月	-0.9%
6ヵ月	-7.9%
1年	-2.7%
3年	16.0%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

年月	分配金
2015年7月	40円
2015年6月	40円
2015年5月	40円
2015年4月	40円
2015年3月	40円

設定来 3.0%

設定来累計 3,940円

設定来=2010年5月27日以降

基準価額変動の要因分解(概算)

		直近1か月の騰落
基準価額騰落額		-157円
分配金		-40円
通貨部分	ブラジルリアル	-91円
	トルコリラ	-40円
	南アフリカランド	-36円
	-	-
	-	-
債券・その他費用等		50円

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。  
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

・左記の要因分解は、一定の仮定のもとに委託会社が試算したものであり、直近1か月の基準価額騰落額の要因を円貨にて表示しております。

資産内容

2015年7月31日 現在

「野村高金利国際機関債投信(毎月分配型)」の組入配分

組入配分	
ファンド	純資産比
ノムラ・カレンシー・ファンド スーパナショナル・ボンド クラスA	98.5%
野村マネー マザーファンド	0.6%
その他の資産	0.9%
合計	100.0%

「ノムラ・カレンシー・ファンドスーパナショナル・ボンドクラスA」の資産内容

ポートフォリオ特性値	
平均最終利回り	9.6%
平均直利	8.4%
平均デュレーション	1.2年
平均格付	AAA
組入銘柄数	16銘柄

・ポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金を含む)の各特性値(最終利回り、直利、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものを、現地通貨建て。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。  
・デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。  
・格付はS&P社、ムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。  
・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

通貨別配分

通貨	実質通貨比率
南アフリカランド	35.6%
トルコリラ	34.9%
ブラジルリアル	29.7%
-	-
-	-
-	-
その他の通貨	-0.2%

・実質通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

発行体別配分

発行体	純資産比
北欧投資銀行	19.2%
欧州投資銀行	17.0%
世界銀行(国際復興開発銀行)	16.5%
アフリカ開発銀行	15.1%
アジア開発銀行	9.8%
その他の国際機関債等	11.0%
その他の資産	11.3%
合計	100.0%

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

◆お申込みは

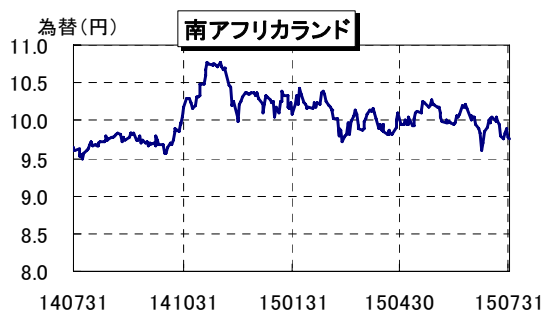
◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員  
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



投資対象通貨の為替レート(日次)

2015年7月31日現在



折れ線グラフは、それぞれの通貨の対円での為替レート(出所:ブルームバーグ)

先月の投資環境

<市場動向全般>現在の投資通貨であるブラジルレアル、トルコリラおよび南アフリカランドは対円で下落しました。ブラジルでは景気低迷や高水準のインフレ率、財政収支および対外収支の悪化などファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)が厳しいことや、ブラジル石油公社ペトロブラスの汚職事件への政府高官の関与などを受け、大手格付会社が格付け見直しを引き下げました。こうした状況を受けて、ブラジルレアルは対円で比較的大きく下落しました。

<ブラジル>5月の鉱工業生産は前年同月比-8.8%と、前月の同-7.8%に続き、マイナスとなりました。また、5月の小売売上高は前年同月比-4.5%と、前月の同-3.3%から悪化しました。6月の消費者物価指数(IPCA)は前年同月比+8.9%と前月の同+8.5%から上昇し、中央銀行のインフレ目標の上限値6.5%を上回って推移しました。また、ブラジル中央銀行は7月29日(現地時間)に政策金利を0.5%引き上げ、14.25%としました。

<トルコ>5月の鉱工業生産は前年同月比+2.4%と、前月の同+3.9%から低下しました。物価指標については、6月の消費者物価指数は前年同月比+7.2%と、前月の同+8.1%を下回りました。トルコ中央銀行は7月23日の金融政策委員会で1週間物レボ金利を7.50%に、上限金利である翌日物貸出金利を10.75%に、下限金利である翌日物借入金利を7.25%に、それぞれ据え置きました。

<南アフリカ>5月の製造業生産高は前年同月比-1.4%と前月の同-2.1%に続きマイナスとなり、同月の実質小売売上高は前年同月比+2.4%と、前月の同+3.4%を下回る伸びとなりました。また、6月の消費者物価指数は前年同月比+4.7%と、前月の同+4.6%から上昇しました。南アフリカ準備銀行は7月23日(現地時間)に政策金利を0.25%引き上げ、6.00%としました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

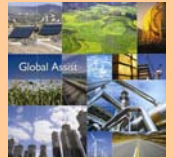
○悪化傾向にある財政収支や経常収支、高いインフレ率が懸念されるブラジルレアルの比率を低めとする一方で、足元の原油価格水準が経常収支の悪化やインフレ率の上昇を緩和すると期待されるトルコリラ及び南アフリカランドの比率を高めました。  
○外国籍投信のフルインベストメント(高位組入)を維持し、外国籍投信の運用成果を実質的に享受するよう努めました。

今後の運用方針(2015年7月31日現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○外国籍投信を通じてブラジルレアル、トルコリラ、南アフリカランドの組み入れを維持します。また組み入れ債券は国際機関債を中心とします。通貨別比率については、悪化傾向にある財政収支や経常収支、高いインフレ率に対する懸念が根強いブラジルレアルの比率を低位とします。一方で、トルコリラおよび南アフリカランドについては、昨年来の原油価格の下落が経常収支の悪化やインフレ率の上昇を緩和すると期待されることなどから、引き続き比率を高位とします。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。



ファンドの特色

- **インカムゲインの確保とキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行いません。**
- **国際機関※1が発行する、信用力の高い債券を実質的な主要投資対象※2とします。**  
※1 ファンドにおいて「国際機関」とは、主に世界の各地域の経済発展や貧困削減を目的に、複数の先進国が中心となり設立された国際的な組織をいいます。国際機関は、発展途上国等への資金供給のため、様々な通貨建ての債券を発行しています。なお、国際機関が発行する債券を「国際機関債」といいます。  
 ※2 「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- **新興国の通貨の中から、相対的に金利の高い複数の通貨を選定し、国際機関債等への投資および為替予約取引等の活用を通じて、選定した通貨によるポートフォリオを構築し、当該通貨への投資効果を追求します。**
  - ◆ 円建ての外国投資信託「ノムラ・カレンシー・ファンドスーパーナショナル・ボンドークラスA」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。
  - ◆ 通常の場合においては、「ノムラ・カレンシー・ファンドスーパーナショナル・ボンドークラスA」への投資を中心とします※が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。  
※ 通常の場合においては、「ノムラ・カレンシー・ファンドスーパーナショナル・ボンドークラスA」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。
- **ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。**
- **原則、毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。**  
**分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。**  
\* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。  
 したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。  
 ※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成32年5月15日まで(平成22年5月27日設定)
- 決算日および収益分配 年12回の決算時(原則、毎月15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万円以上1万円単位(当初元本1口=1円)  
 または1万円以上1円単位  
 自動かけぞく投資コース:1万円以上1円単位  
※お取扱いは、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金の各お申込みができません。  
 ・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルグの銀行  
 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。  
 なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 課税関係

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に2.7%(税抜2.5%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.9504%(税抜年0.88%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.3004%程度(税込) (注)ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	ありません。 上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元金は保証されていません。・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

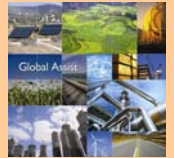
**野村アセットマネジメント株式会社**  
 ☆サポートダイヤル☆ 0120-753104 (フリーダイヤル)  
<受付時間> 営業日の午前9時~午後5時  
 ☆インターネットホームページ☆ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> **野村アセットマネジメント株式会社**  
 [ファンドの運用の指図を行なう者]  
 <受託会社> **野村信託銀行株式会社**  
 [ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

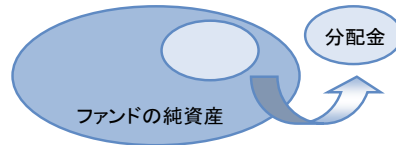
◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
 一般社団法人投資信託協会会員  
 一般社団法人日本投資顧問業協会会員



分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



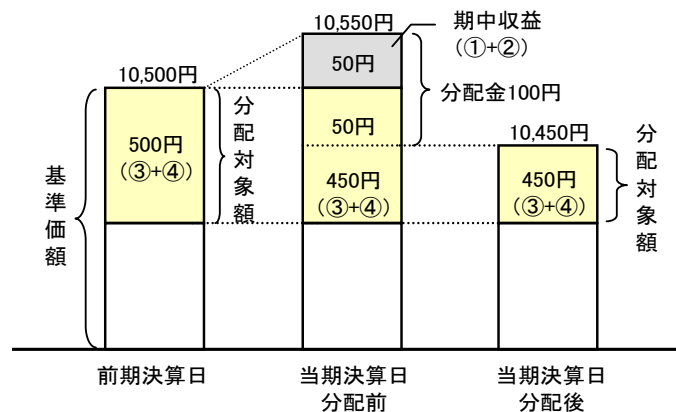
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

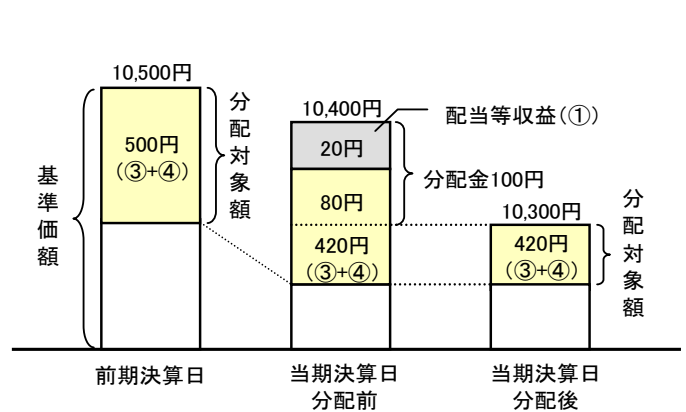
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合

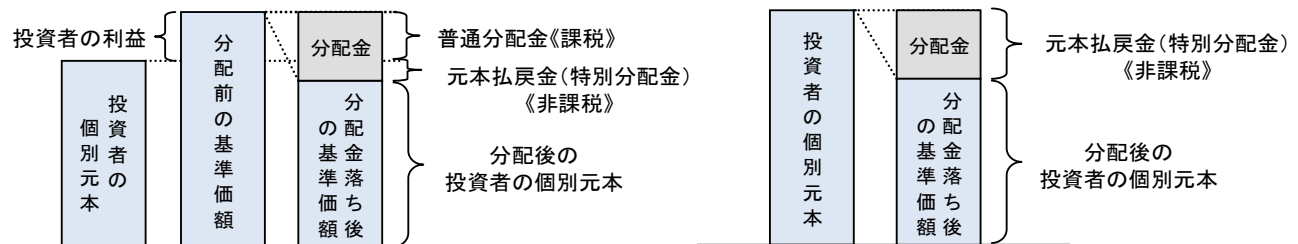


前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇普通分配金・・・分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金・・・分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となります。



※投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員  
一般社団法人日本投資顧問業協会会員